



小

組んで 組んで 組んで

3年生 檀原市立金橋小学校 池田 佑佳

1. はじめに

造形遊びを通して、手や体全体を動かして、時には友人と協力することで発想や構想を繰り返し、それぞれの課題を解決していく力を育てていきたいと考えている。

1学期には「ひもでつないで」を行った。ひもを結んだり繋いだり、ひもによって変化した場所を様々な角度から見たりして、自分たちの力で場所の感じを変えていく児童の姿が見られた。

図画工作科において大切にしていることは3つある。1つ目は、児童が「やってみたい！」と思えるように導入を工夫すること。2つ目は、児童の発想や構想を膨らませるために活動中の支援を工夫すること。児童がどのような思いをもって活動しているのかを、児童の表情や態度、言葉などに意識して関わりたい。3つ目は、学習過程で友人と交流したり、表現したものを鑑賞したりする時間を大切にすること。互いの活動や作品のよさに気づき、自分の考えなどを広げたり、深めたりできる児童の姿を大切にしたい。

2. 題材の概要

本題材では、平面のものでも組み合わせることによって立体的なものに変化する面白さを、手や体全体で味わうことができる。児童は、「つくり、つくりかえ、つくる」という学習過程を繰り返しながら、自分の発想や構想に向き合ったり自然と友人と協力したりして、夢中になって活動すると考える。

本題材までに「ひもでつないで」や「ここがすみか」「つなぐんぐん」で、造形遊びの活動を進めた。「ひもでつないで」では、黙々と一人で活動に没頭する児童や、友人と協力しながら活動する児童の姿が見られた。「この辺の色がレインボーみたいできれい」「囲まれて安心する。ずっとここにいたい」「ここがブランコみたいな形」などと、児童は繋いだひもによって変わった場所や、ひもの形、色の感じを味わい楽しみながら活動した。

3. 活動の概要

本時では、児童が手や体全体を使って、発想や構想を膨らませる活動を広い場所で行う。

児童が意欲や期待をもてるように、教師が段ボールを十字状や井桁状に組むことを、児童とのやりとりを大切にしながら、丁寧に導入を行う。「どこに、どれくらいの深さの切り込みを入れる？」「次はどうしたい？」「ここを組むとどう見える？」と児童の意欲を存分に掻き立てたい。児童が「ここを組み合わせるとどうなるかな」「次は斜めに繋いでみよう」「横から見ると、こんな感じよね」などと、時には自分自身と、時には友人と対話する時間を大切にしたい。組合せ方や高くしたいのに倒れてしまう等の困り感を感じている児童には、児童の気持ちに寄り添い、課題が達成できるように、具体的な解決方法を探っていく等の支援をする。そして、段ボールを組み合わせる行為を繰り返しながら変化する形の面白さや、いろいろな組合せ方の工夫などの、見方や感じ方を深めていく、児童の姿を期待する。



小

ようこそ、見たことのない世界へ

5年生 檀原市立金橋小学校 小西 芳理

1. はじめに

本大会のテーマである「わくわく！どきどき！ひびきあう！～創りだす喜びをわかち合い豊かな感性を育む造形教育～」に沿って、実践を進めてきた。これまで、児童が自ら考え、自ら表現したいことを見付けることのできる授業を心がけてきた。そのためには、児童のわくわくする気持ちを高め、豊かに発想し、構想につなげる導入が重要だと捉えた。本題材では、写真の一部から周りに広がる見えない世界を想像し、少しずつ形にしていく活動を通して、表現力を高められるように支えたい。

2. 題材の概要

【目標】

心に留まった写真を基に、想像を広げていきながら、絵に表すことを通して、自分で表現したいことを見付けたり、どのように主題を表すかを考えたりし、表現したいことに合わせて表し方を工夫して表す。

本題材は、写真から見たこと、感じたこと、想像したことから、表現したいことを見付け、自分のイメージを絵に表す活動を通して、形や色、材料の特徴などの感じを考えながら、表現の工夫や素材の特徴に気づき、つくりだす喜びを味わうことのできる題材である。

3. 活動の概要 (全4時間)

第1次(3時間) 本時2/4

友人と写真を見合いながら感じたことを話し合い、写真から「まだ見ぬ世界」の色や形や様子を想像して描く。

- ・写真をじっくり見て、まわりの世界を想像しながらお互いの思いを出し合う。
- ・表現したいことに合わせて表し方を選び、イメージした世界を広げながら描く。

第2次(1時間)

自分たちの作品を鑑賞して、互いのよさや表し方の違いを感じ取る。

【指導の手立て】

- ①児童が写真を見て感じたことをたくさん話し合い、周りの世界を想像するために様々な種類の写真を用意する。
- ②児童が表現したいことを見付け、児童のイメージを表現するために、材料や用具を準し、環境を整える。
- ③作品の主題や表し方の工夫を友人と交流するために作品をじっくりとながめ、活動過程を振り返る時間を設ける。